

長崎県佐世保市

令和7年度置き配普及啓発事業に係るアンケート結果

Yper株式会社

佐世保市ゼロカーボンシティ推進室

アンケート調査について

アンケート調査は応募時の事前アンケートと、利用1か月経過後に行った事後アンケートの計2回実施しました。

1か月経過利用状況アンケート概要

実施期間	2025年10月17日～2025年11月2日
調査方法	Webフォームによるアンケート
対象者	3,000世帯
回答数	1,939件（回答率：64.63%）
調査内容	<ul style="list-style-type: none">①利用状況<ul style="list-style-type: none">・宅配便の利用回数・置き配バッグの利用回数・再配達となった回数②取組みへのご意見③当事業への応募のきっかけ④置き配以外に工夫している受取方法



アンケート分析結果

置き配バッグ配布前後での再配達削減率（試算値）

配布前 再配達回数 (試算数)	配布後 再配達回数 (試算数)	再配達減少回数 (試算数)	再配達削減率
5,792回	1,497回	4,295回	74.15%

対象荷物の **74.15%** の再配達を削減できた結果となりました！

バッグ配布前後での再配達削減回数は4,295回となっており、バッグを配布してから1か月間で約1,961kgの二酸化炭素の排出抑制ができたこととなります。これは約229本の杉が1年間に吸収する二酸化炭素量に相当します。



(参考) 二酸化炭素排出抑制量の算出方法と杉の木への換算について

※二酸化炭素排出抑制量の算出方法と杉の木への換算

二酸化炭素排出抑制量は国土交通省「宅配の再配達削減に向けた受取方法の多様化の促進等に関する検討会報告書」を参考に以下の通り算出。

【算出式】

$$\begin{aligned} & \text{二酸化炭素排出抑制量}[\text{t-CO}_2] \\ &= N[\text{個}] \times 0.58[\text{km/個}] \times 1[\text{t}] \times 808/1000000[\text{t-CO}_2/\text{t-km}] \end{aligned}$$

0.58[km/個]：宅配事業者から提供の配送車の走行距離を取扱個数で除して算出。走行距離には幹線輸送の数値を含まない。

1[t]：積載量の平均を 1t と想定。

808/1000000[t-CO₂/t-km]：営業用小型車の二酸化炭素排出原単位

杉の木への換算は林野庁 HP を参考に、1本の杉が1年間に吸収する CO₂量を 8.8[kg]として算出。

本事業に対するご意見の紹介

再配達の削減により自身の手間が減って便利、再配達への罪悪感が解消されたなど肯定的なご意見が多く寄せられた一方で、指定した荷物がバッグに入っていないなどといったご意見もありました。

【ご意見例】

【利便性】

- ・家が坂の上であり、再配達してもらう事が申し訳なく思っていたのですが、OKIPPAの抽選に当たったことで宅配便がくる日も安心して外出する事ができました。
- ・玄関前の置き配はこれまでも良く利用していましたが、盗難の不安などが少しありました。今回のバッグにより、帰宅までの間の不安が軽減しました。ありがとうございました。
- ・設置後に宅配業者の方と話したんですが非常に喜んでもらったのでどんどん普及すればいいなと思います。

【その他意見】

- ・設置が難しい。
- ・業者さんによっては置き配バッグを設置していても、バッグに入れずに玄関に置き配されていることがありました。

アンケート調査へのご協力ありがとうございました。

まとめ

今回の事業およびアンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。
いただいたご意見は、市内の宅配事業者と共有し、より良い取組となるよう進めて参ります。
本市は運輸部門の温室効果ガスの排出量が多いことから引き続き再配達削減に向けて取り組んでいきたいと思います。

【再配達削減のために活用をお願いしたいこと】

- ・ 時間帯指定の活用（ゆとりある日時指定）
- ・ 各事業者の提供しているコミュニケーション・ツール等（メール・アプリ等）の活用
- ・ 多様な受取方法の活用（コンビニ受取や置き配など）



未来へつなぐ ゼロカーボン！
ZERO CARBON CITY
SASEBO



R8.4は「再配達削減PR月間」です！ みんなで、減らそう、再配達！



**再配達率は
約10.4%**

10個に1個の荷物が、1回で受け取られていません。



**二酸化炭素排出量
約25.4万トン**

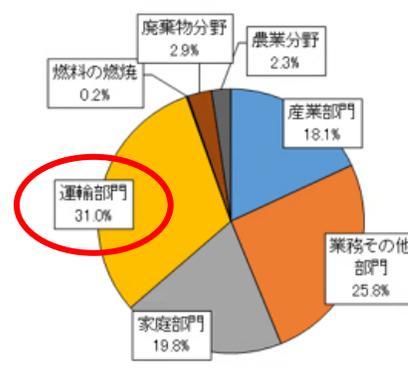
年間でこの量のCO₂が無駄に排出されています。



**労働力損失
約6万人分**

年間で約6万人分の労働力が再配達に費やされています。

これが再配達の現状なんだ…



特に佐世保市の温室効果ガス排出は輸送や運搬を主とする「運輸部門」によるものが最も多いんだ！

再配達削減

↓

運輸部門の排出削減

↓

ゼロカーボンシティの実現に寄与



みんなで、減らそう、再配達！

日時や場所を指定して、荷物を一度で受け取ろう。



宅配便会員サービス利用率 **47%**

※2025年2月集計時点 ※国土交通省調べ



コンビニなど



街の宅配ロッカー



宅配便営業所



自宅の宅配ボックス



置き配

対面以外の受け取り **26%以下**

みんなで、減らそう、再配達！



置き配を選ぶ



宅配ロッカーを使う



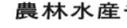
日時や場所を指定しよう



消費者庁



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare



農林水産省



経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry



国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism



環境省